

【協議事項】

1 二代目浪川会に対する指定暴力団の第7回指定について

（暴力団対策部）

警察本部から「福岡県大牟田市に主たる事務所を有する二代目浪川会については、暴力団対策法第3条各号の指定要件をいずれも満たしていることから、同法に基づき、指定暴力団として7回目の指定を行いたい。本指定について御審議をお願いする。」旨の報告があった後、本件は了承された。

2 太州会に対する指定暴力団の第12回指定について

（暴力団対策部）

警察本部から「福岡県田川市に主たる事務所を有する太州会については、暴力団対策法第3条各号の指定要件をいずれも満たしていることから、同法に基づき、指定暴力団として12回目の指定を行いたい。本指定について御審議をお願いする。」旨の報告があった。

公安委員から「暴力団の壊滅のため、手続をよろしく願います。」「二代目浪川会も太州会も指定暴力団としての指定は必要な措置であると考えます。関係機関と連携を図り、確実な対応をお願いします。」旨の発言の後、本件は了承された。

【報告事項】

1 2月定例県議会の日程について

（総務部）

警察本部から「2月定例県議会の会期は、2月20日から3月24日までの33日間の予定であり、審査予定議案は、令和7年度福岡県一般会計予算等となっている。」旨の報告があった。

公安委員から「審査予定議案として、田川警察署の建設費は入っているのか。」旨の発言があり、警察本部から「令和8年度警察費当初予算案に計上している。」旨の説明があった。

2 令和8年度警察費当初予算について

（総務部）

警察本部から「令和8年度の警察費当初予算額については、総額が1,493億2,200万円余で、前年度比1億8,200万円余の増となっている。その内訳については、人件費が前年度比65億5,000万円余の増となっており、その主な要因は、給与条例の一部

改正等に伴う増額によるものである。また、物件費は、前年度比63億6,800万円余の減となっており、その主な要因は、篠栗合同庁舎や福岡武道館の建築完了に伴う経費の減額によるものである。物件費の主な内容としては、福岡県警察運営指針関連予算、重点施策、施設事業及び警察基盤の充実強化となっている。」旨の説明があった。

公安委員から「簡易型アルコール検知器の整備については、従来の検知器とは違う物を整備するのか。」旨の発言があり、警察本部から「従来と同じ検知器であるが、飲酒運転撲滅対策の強化のため、未配備及び配備が不足している所属へ配備することになっている。」旨の説明があった。

公安委員から「災害用の軽四輪自動車は、これまで県警にはなかったのか。」旨の発言があり、警察本部から「これまで、災害用の自動車については、国費で配備された車両があったが、本予算においては、大型車両の通行が困難な被災地に人員や資器材を搬送するなど、災害対応力を強化するため、8警察署に軽四輪自動車を配備することになっている。」旨の説明があった。

3 田川警察署庁舎新築工事契約の締結について

(総務部)

警察本部から「田川警察署は、昭和45年度に建設後、55年が経過しており、老朽化・狭隘化を解消するため、移転建替により新庁舎を建設する。竣工は令和9年11月30日を予定しており、令和9年度中に開庁することとしている。」旨の報告があった。

公安委員から「新庁舎までは坂道を上ることになるが、その点の配慮はなされているのか。」旨の発言があり、警察本部から「現在の庁舎に向かう道路よりも勾配は強くないが、引き続き検討していく。」「高齢者や車椅子利用者等の利便性や庁舎のバリアフリーなど、必要な検討を行っていく。」旨の説明があった。

4 令和7年中の懲戒処分状況について

警察本部から「令和7年中の懲戒処分者は前年度と同じ18人であり、免職が4人、停職が3人、減給が5人、戒告が6人である。また、業務上が9人、私行上が9人であり、階級別では、巡査が6人、巡査部長が8人、警部補が1人、警部以上が2人、行政職員が1人となった。」旨の報告があった。

公安委員から「昔の感覚でやってしまったというようなハラスメント事案も多いのか。」旨の発言があり、警察本部から「ハラスメントによる処分は、前年よりも多かった。ハラス

メントの定義を始め、今後も指導・教養をしっかりとしていく必要があると考えている。更に、全職員に対して、アクティブバイスタンダーを浸透させるなどの強化対策をとることとしている。」旨の説明があった。

公安委員から「県警の信頼を維持する上で、処分者数を重く受け止め、指導・教養等の諸対策をよろしく願います。」旨の発言があった。

5 北九州マラソン2026に伴う警察措置について

(交通部)

警察本部から「2月15日、北九州市及び一般財団法人北九州市陸上競技協会の主催により、北九州マラソン2026が開催される。参加人数は12,350人となっており、大会当日は、警察本部に交通部長を長とする「県警備本部」を設置するとともに、コースを管轄する4警察署には署長を長とする「現地警備本部」を設置し、所要の体制で各種対策に当たることとしている。」旨の報告があった。

公安委員から「自治体が主催するマラソン大会は、参加者は増えているのか、それとも減っているのか。」旨の発言があり、警察本部から「最近では参加者の追加募集をしているようなマラソン大会もあり、参加者が減っている大会もあると思う。」旨の説明があった。

6 死亡ひき逃げ事件被疑者の逮捕について

(交通部)

警察本部から「八女警察署及び交通捜査課は、2月7日午前6時15分頃、福岡県八女市の市道において、普通乗用自動車を運転中、進路前方を同一方向に進行中の被害者運転自転車に衝突、同人に傷害を負わせたにもかかわらず、救護等の措置を講じることなく逃走し、被害者を死亡させたとして、同日、福岡県八女市居住の介護士の男性を逮捕した。」旨の報告があった。

公安委員から「ひき逃げした後、数時間後に出頭するような被疑者に関しては、救護義務違反よりも飲酒運転の方が厳しく罰せられると思って逃げるのか。」旨の発言があり、警察本部から「本件被疑者については飲酒運転ではなかったが、飲酒運転により交通事故を起こして逃走を図る者は、咄嗟の心理的特性から逃走を図っているものと思われる。」「一般的に、日常生活の中で事故当事者になることは減多になく、当事者は急な場面において合理的な判断はできずに逃走を図っていると考えられる。」旨の説明があった。